

カラボギャラリーは、東京工芸大学の教育の原点である写真、印刷、光学といった学問分野に根差し、今日の工学部と芸術学部に通ずる全学的な研究テーマである「色」について楽しく学ぶことができる公開施設です。カラボギャラリーではこれまでに多くの企画展を開催し、「色」の持つ様々な魅力をご紹介してまいりました。本展示は、カラボギャラリー第11回企画展「色を聴く、色に触れるー知覚の多様性ー」および第10回企画展「色を記録する展」として開催された成果を、より多くの方にご鑑賞いただけるよう常設展として再展示するものです。人間の知覚の多様性を紹介する体験型展示、および本学と深い関わりを持つ小西六によるカラープリントの実物展示を引き続きお楽しみください。

色を聴く、色に触れる — 知覚の多様性 —

ディレクション 中島 武三志
(芸術学部インタラクティブメディア学科)

色や音、手触りを多様な形で感じとっていただける体験型展示を通じて、人間が持つ感覚・知覚の面白さをご紹介します。私たちの周りには、青い空、白い雲、緑の木々、といったように様々な色の世界が広がっていますが、必ずしも色だけでなく、音や手触りなど、全身を使ってこの世界を感じ取っています。本展示では、視覚・聴覚・触覚の仕組みや色の見え方の多様性のほか、共感覚と呼ばれる一部の人が持つ知覚の世界などについて解説します。

3 触れる感覚のいろいろ

触れる感覚の様々な分類について紹介します。



いろいろな触感 / 中島 武三志

1 色を感じる仕組み

人間の目が色をとらえて認識する仕組みや、色の見え方の多様性について解説します。



色覚多様性の世界 / 吉田 穂乃花、中島 武三志

4 感覚同士のつながり

色と音、色と触感など、感覚と感覚同士のつながりや相互作用について紹介します。



色を聴く / 北島 圭吾、瀧澤 黎士、中島 武三志

2 音が聞こえる仕組み

人間の耳が音をとらえて認識するしくみや音の三要素、音が人の心に及ぼす影響について紹介します。



音の波形を見る / 中島 武三志

5 色を感じる共感覚

字を見ると色が見えたり、音を聞くと色が見えたりするような、ごく一部の人が持っている感覚は共感覚と呼ばれます。ここでは一般の人にとってイメージすることの難しい共感覚の世界をご紹介します。



色字共感覚の世界 / 猪股 瑛仁、中島 武三志

色を記録する — 三色分解撮影の時代 —

ディレクション 矢島 仁
(芸術学部映像学科 元准教授)

本展示は、小西六本店(現在のコニカミノルタ株式会社)の製造部門である六櫻社の技師長、ならびに本学創立時の理事であり講師でもあった江頭春樹の開発による「転写現像紙」を利用した天然色印画と、小西六写真工業取締役 毛利廣雄らの開発したコニカラー映画システムを紹介するものです。製作から80年余を経過しても、良好な色彩を保つ小西六の天然色印画法を知ることは、小西六と関係の深い東京工芸大学の建学の精神への理解を深めるものであり、カラボギャラリー第10回企画展として開催されたものを、好評につき再展示するものです。

1 六櫻社式天然色印画とそのネガフィルム 2 コニカラー映画システム



cololab
gallery
カラボギャラリー

- 開館時間: 月曜日-金曜日 12:00-17:00 【入場無料】
- 休館日: 土曜日・日曜日・祝日 (※臨時開館閉館あり。HPでご確認ください。)
- 会場: 東京工芸大学 厚木キャンパス 12号館 2階 カラボギャラリー
〒243-0297 神奈川県厚木市飯山南5-45-1 TEL:046-242-4111
<https://collab.t-kougei.ac.jp/gallery/>
- 主催: 東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター
- 展覧会アートディレクション: Sadatomo Kawamura Design
- 施工: 株式会社O.D.A



小田急線「本厚木駅」からバス20分(厚木バスセンター 7番乗り場「東京工芸大学」行き)